

第13回 JTB 交流文化賞 受賞作品が決定

交流による地域活性化の優れた取り組みを表彰

JTBは1月24日、「第13回 JTB 交流文化賞」の受賞作品を発表した。この賞は、地域に根ざした持続的な交流の創造と各地域の魅力の創出、地域の活性化に寄与することを目的としている。地域(観光地)の組織・団体の取り組みを対象とした「組織団体部門」では、一般社団法人 ReRoots「被災地域再生に挑め。『仙台の農村』を活かした学生の挑戦」が最優秀賞に輝いた。優秀賞には大洗ユニバーサルビーチクラブ「大洗サンビーチとユニバーサルビーチの取組」とみのわの里のきつねの嫁入り実行委員会「上州のかあちゃん、お待ち女房!! かかあ天下が創造する新しい伝統文化 ～おら達でもできるんだんべえ～」の2作品が選ばれた。



表彰式の様子

JTB社長
高橋広行氏

賞の意義と目的

まずは、受賞された皆さまにお祝い申し上げます。
JTBグループは旅行業を通じて培ってきた「人と人をつなぐ力」を活用して、あらゆる場所で交流を生み出し、地域や社会課題の解決にまでつなげていく地域交流事業を推進しています。2005年にこの理念のもとにJTB交流文化賞を創設し、今回で13回目を迎えることができました。交流文化賞の大きな特徴は、地域の独自性が生かされ今後の発展が期待できる「持続可能な観光」を応援する賞ということです。
今後も受賞した地域の取り組みに対しては、表彰だけでなく具体的な支援や、商品化やプロモーションなどをJTBグループが全力でバックアップしてまいります。受賞地域の「これから」に、ぜひご期待下さい。

「持続可能な観光」を応援

最優秀賞

被災地域再生に挑め。 「仙台の農村」を活かした学生の挑戦

一般社団法人 ReRoots

宮城県仙台市

農地回復のボランティア活動



農家の目線で長期的な支援
2011年3月11日に起きた東日本大震災。行政のボランティアセンターは融通が利かず、民間のボランティア団体は自分の得意分野で何をやろうと引き受けてしまう状況。行政にも民間のボランティアにも欠けていたものは「被災者である当事者の目線」がないこと。そこで学生たちは自分たちでボランティア活動を行おうと震災復興・地域支援を決意した。ReRootsは仙台市若林区沿岸部には南北10キロ、東西5キロにわたる広大な農地が広がる。だが、すべての農地がガレキだらけで、家や車などのコンクリートにまみれ、若林区の農業と農村の再生に向けた支援を開始した。

ウスも流出し、農家の生活再建が困難な状況だった。学生たちは農家の目線に立つて、生活の回復まで見据えた長期的支援の必要性があると考えた。ガレキを撤去し農地を回復する復興支援。次に営農を再開する復興支援。さらに過疎化や農業後継者不足を改善する地域おこしへの支援。3年間で3万人のボランティアを受け入れ、約5000件の支援活動を終了しており、地元の大學生で運営され、イベント、体験、交流事業を中心に活動を広げ、現在も復興活動を継続中であることが素晴らしい。

受賞の喜び

復興の責任感さらに強く



広瀬剛史代表

受賞してうれしいという側面もあるが、仙台市若林区の津波被災からの復興を成し遂げなければいけないという責任感の方が強く強くなってきた。
僕らが受賞したというよりも、地域の文化や人、農村らしさなど、そもそも若林区にある資源の魅力を評価していただけたと思う。

優秀賞

上州のかあちゃん、お待ち女房!! かかあ天下が創造する新しい伝統文化 ～おら達でもできるんだんべえ～

みのわの里のきつねの嫁入り実行委員会

群馬県高崎市

岡本優子
実行委員長

受賞の喜び

受賞を機に大きく飛躍を遂げた。地域住民を巻き込んで地元で伝わる伝説や箕輪城をみんなで県内外に伝えようと努力してきた。この16年という長い間、いろいろな方に応援していただいた。高崎伝統の「だるま」ときつねがコラボするイベントの話も進んでおり、今年は大きく飛躍する年になると感じている。



野外劇

地域住民を巻き込んで地元で伝わる伝説や箕輪城をみんなで県内外に伝えようと努力してきた。この16年という長い間、いろいろな方に応援していただいた。高崎伝統の「だるま」ときつねがコラボするイベントの話も進んでおり、今年は大きく飛躍する年になると感じている。

きつね姿の祭りで地域活性化

群馬県高崎市箕輪町で、忘れられた昭和30年代の古い祝儀の伝承を図りたいと、2003年に地域住民が当時の衣装や料理、式次第を再現した。このことを契機に、新しい伝統文化を自分たちの手で創造したいという強い思いにかられ、稲畑由輪

土まを年み出す心の拠り所として育つようとしている。
【評価のポイント】
地域で希薄になりつつある伝統和装文化と国の指定遺跡「箕輪城跡」を融合させ、祭りを毎年開催することで、保全、継承に地域住民が楽しく遊び、郷にもつながっている。
儀式の伝承と発信を目的に、手作りの感ある親しみやすい野外劇、きつねメイクの花嫁行列、ミスきつねコンテストを開催し、地域活性化に貢献できている。
多くの人を集客できる行事になっており、経済効果と共に着物文化の啓発につながっている。

優秀賞

大洗サンビーチとユニバーサルビーチの取組

大洗ユニバーサルビーチクラブ

茨城県東茨城郡



ZICO足立船長

受賞の喜び

20年近く地道にやってきた「ユニバーサル」ということがなかなか世の中に評価されることがないと思っていたのだが、こういう賞に選ばれたこととても驚いている。
われわれの活動内容が世の中に発信され、ユニバーサル社会に変わる速度が速まれば良いと思う。

ビーチフラダンス



1995年に日本初のバリアフリービーチにするため、車いすが走行しやすいよう木製のスロープを整備。タイヤが大きい砂地でも走行できる水陸両用車を整備や水陸両用車などを調達するなどの、まちづくりにつながるパワ、実行力が評価できる。
老若男女が楽しめるユニバーサルビーチを目指すことで地域活動の定着につながっており、地域の人が連携した成功例である。さらなる情報発信をすることで、まちおこしにつながることを期待できる。

誰もが楽しめる海水浴場に

大洗サンビーチで地元の子供たちの海難を防ぐため、車いすが走行しやすいよう木製のスロープを整備。タイヤが大きい砂地でも走行できる水陸両用車を整備や水陸両用車などを調達するなどの、まちづくりにつながるパワ、実行力が評価できる。
老若男女が楽しめるユニバーサルビーチを目指すことで地域活動の定着につながっており、地域の人が連携した成功例である。さらなる情報発信をすることで、まちおこしにつながることを期待できる。

【評価のポイント】
障がいを持つ人へ配慮している点は全国でも珍しく、今後も先駆的な役割を担ってほしい。
「誰もが楽しめる安全な海水浴場」を目標に木製スロープの整備や水陸両用車などを調達するなどの、まちづくりにつながるパワ、実行力が評価できる。
老若男女が楽しめるユニバーサルビーチを目指すことで地域活動の定着につながっており、地域の人が連携した成功例である。さらなる情報発信をすることで、まちおこしにつながることを期待できる。



JTBは、地域・文化・人との新しい出会い、「交流文化」を支援・推進します。

JTB 交流文化賞

JTB交流文化賞は、地域に根ざした持続的な交流の創造と地域の活性化に寄与することを目的として、2005年に創設されました。以来、10年以上にわたり、地域・文化そして人との新しい出会いを応援すると共に、受賞地域を様々なかたちでバックアップしています。

第13回「JTB交流文化賞」では、多数のご応募をいただき、ありがとうございました。

これからも本賞を通じて、様々な交流文化の広がりや地域の発展に寄与してまいります。

被災地域再生に挑め
「仙台の農村」を活かした学生の挑戦

大洗サンビーチとユニバーサルビーチの取組

上州のかあちゃん、
かかあ天下が創造する新しい伝統文化
～おら達でもできるんだんべえ～

お問い合わせ先

JTB交流文化賞事務局 (株式会社JTB総合研究所内) tel.03(6722)0757 (10:00～17:30 土・日・祝日休み) fax.03(6722)0753 e-mail: jtb-kbunkasho@tourism.jp

JTB交流文化賞

検索